

第55回全国道場少年剣道大会 全国道場少年剣道選手権大会

(第45回小・中学生男子の部)(第38回小・中学生女子の部)

要 項 (抜粋)

- ※ 本大会は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図る為、全日本剣道連盟の制定した「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」に沿って開催する。
- ※ 来場者全ての者にマスクの着用を求める等、感染防止対策に努めることとする。
- ※ 本大会の会場への入場者数は、新型コロナウイルス感染症対策の観点より、下記の入場制限を設ける

【団体戦】

本大会の会場への入場者数は、新型コロナウイルス感染症対策の観点より、出場する1チームにつき、選手3名、監督1名、付き添い3名の計7名までとする。座席は指定席として振り分け、【出場決定通知書】にて通知する。

【個人戦】

本大会の会場への入場者数は、新型コロナウイルス感染症対策の観点より、出場選手1名につき、付添いは監督1名(保護者兼任可)のみとし、個人戦専用のIDを発行する。ただし同日の団体戦に出場登録のない選手に限り、保護者の付添いをもう1名認める。座席は指定席として振り分け、【出場決定通知書】にて通知する。個人戦用のIDは団体戦開始とともに無効となり、団体戦用のIDがない場合はすみやかに退館すること。

1. 期日
 - 第1日目 令和4年1月5日(水) 午前9時より開会式
 - ① 全国道場少年剣道選手権大会(個人戦)
小学生男子・女子の部
 - ② 全国道場少年剣道大会(団体戦)
小学生の部
 - 第2日目 令和4年1月6日(木) 午前9時より開会式
 - ① 全国道場少年剣道選手権大会(個人戦)
中学生男子・女子の部
 - ② 全国道場少年剣道大会(団体戦)
中学生の部
2. 場所 おおきにアリーナ舞洲(舞洲アリーナ)
〒554-0042 大阪府大阪市此花区北港緑地2丁目2-14
3. 参加資格
 - ① 全日本剣道道場連盟の加盟団体であること。
 - ② 各都道府県支部割当数により選抜された選手であること。
 - ③ 全日本剣道道場連盟の加盟団体に所属する少年少女剣士であること。
 - ④ 参加少年少女剣士は保護者の同意を得ること。
 - ⑤ **参加者は当連盟の少年剣士会員章(ワッペン)を剣道着の右上腕部につけること。**
 - ⑥ **参加者は本大会においてSSPシール貼付の竹刀を使用すること。**
 - ⑦ **団体戦小学生の部は、3年生以上とする。**
4. 進行方法
 - **本大会は感染予防の観点より、事前アップの時間は設けない。また竹刀を用いた練習は禁止とする。**
 - ① 各日も午前9時より団体戦と統合の開会式を行う。
(アリーナに整列するのは個人戦出場選手のみ予定)
 - ② 開会式終了後、個人選手権試合を男女一斉に開始し、決勝戦まで行う。
 - ③ 個人選手権試合の表彰を行い、**団体戦用のIDのない個人戦の選手・関係者は退館する。**
 - ④ 団体戦を一斉に開始し、決勝戦まで行い、表彰式を行う。

5. 試合内容 本大会は全日本剣道連盟 剣道試合・審判規則、細則及び主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン並びに本大会要項、申し合わせ事項に従って行う。

- * 試合者は試合中、面マスク、シールド着用する。
マスクは口と鼻を確実に覆うものとし、持病等により鼻を出す必要がある場合は申請をすること。シールドは口元を覆うものとし、形状の指定はしない。
- * 試合者は鏑競り合いを避ける。接触した瞬間の引き技及び体当たりからの技(発声を含む)は認める。やむを得ず鏑競り合いになった場合、試合者はただちに分かれる。
 - ・ 「上段の構え」、「突き技」については、(公財)日本中学校体育連盟剣道部申し合わせ事項に準じ禁止する。ただし、隻腕の場合は事前に大会本部に連絡すること。
 - ・ 試合者は本大会においてSSPシール貼付の竹刀を使用すること。
SSPシール貼付の竹刀でない場合は取り換えて試合を行うこと。
竹刀の規格は全日本剣道連盟の規則に従う。ただし、小学生は111cm(3尺6寸)以内とする。
※10月1日発行の個人戦要項において3尺7寸と記載がありますが、正しくは『3尺6寸』です。
監督は責任をもって選手の竹刀が、試合ごとに適格かつ安全な竹刀であることを確認して下さい。
 - ・ 試合場は規則より狭く設営してあるが、「場外」の反則は規則通り適用する。
 - ・ 試合者の目印(紅白たすき)は、各自で持参し、着脱も行うこと。
(プログラムによる試合者番号の若い方を赤とする)
 - ・ 試合者の名札(垂ネーム)は、所属団体部分がチーム名(全道連登録名)と合致した、姓入りの明確に読み取れるものを使用すること。
(全道連に「〇〇中学」名で登録していない場合は「〇〇中」の名札は使用できない)
- * 関係者一同、対戦相手を取り違えないよう充分ご注意下さい。
- * 各試合場の1回戦目までにおいて、数回呼び出しても現れないチーム／個人がある場合は、次の試合を進めます。
- * 3試合を待ち、それまでに現れない場合は不在チーム／個人の不戦負けとします。
その間、対戦チーム・個人はその場に待機して下さい。
- * 各試合場の2回戦目以降は、数回呼び出しても現れない場合は不在チーム／個人の負けとします。
試合進行にご注意下さい。
- * 交通機関等の事情により、上記の時間以上、試合場到着が遅れる場合は、大会委員長又は大会総務委員長により判断致します。
- * 進行状況により試合場を変更する場合があります。場内アナウンスにご注意下さい。

【団体戦】

試合は3人制の団体戦で、各試合場、トーナメント方式により行う。

- ① 試合時間は小学生2分、中学生2分30秒、3本勝負で行い、勝負の決しないときは引き分けとする。
- ② 勝者数、総本数が同数のときは、任意による代表者戦によって勝負を決する。
代表者戦は1本勝負とし、2分ずつ時間を区切って、延長3回で1回5分の休憩を取り、勝負が決するまで行う。
 - ・ 補欠選手は認めません。
 - ・ 2名で登録する場合は「中堅」をあけて「先鋒」と「大将」で登録してください。
 - ・ 当該チームの第1試合開始までに事故者、病欠者等が出た場合の欠員補充は認めます。
 - ・ 試合開始前までに、必ず該当試合場の「選手変更届」用紙に記入頂き、
 - ・ 審判主任又は試合場責任者の了承を得て下さい。但し、オーダーの入れ替えは認めません。
 - ・ 尚、試合が開始されてから事故者等が出た場合は欠員のままで行います。

団体戦表彰 下記の通り表彰する。

- ① 決勝トーナメント戦
 - (1) 優勝 1チーム 優勝旗、優勝杯、楯、メダル等
 - (2) 準優勝 1チーム 楯、メダル等
 - (3) 三位 2チーム 楯、メダル等
 - (4) 敢闘賞 4チーム メダル等
- ② 16ブロックにおける上位各4チーム(ベスト64)までを順次表彰する。準備ができ次第放送で案内す
- ③ 参加選手に対しては参加賞を授与する。

【個人戦】

- ① 試合はトーナメント方式で行い、試合時間は小学生・中学生ともに3分とし、3本勝負で行い、時間内に勝負が決しない場合は、延長戦を2分行う。決着がつかない場合は、判定において勝負を決する。ただし準決勝・決勝の延長戦は2分ずつ時間を区切って、延長3回で1回5分の休憩を取り、勝負が決するまで行う。
- ② 判定の要件は、道場連盟申し合わせ事項として、積極性及び姿勢態度も重視し総合的に判断する。
- ③ 個人戦の選手の変更は、支部の申請が無い限り認めない。
欠員の場合は、不戦扱いとする。

個人戦表彰 下記の通り表彰する。

- ① 優勝者に優勝旗を授与する。(持ち回り)
- ② 優勝・準優勝・三位(2名)を表彰し、賞品を授与する。
- ③ 敢闘賞(ベスト8)までを順次表彰する。
- ④ 参加選手に対して参加賞を授与する。

7. 参加者の健康管理等

- ① 出場者は必ず監督が引率し、大会中選手の健康管理その他すべての行動に責任を負う。
- ② 主催者は大会中の負傷疾病に対し応急手当をする他は、一切の責任を負わない。
- ③ 少年剣士会員章(ワッペン)着用 of 選手は、自動的に傷害保険が適用される。
- ④ 新型コロナウイルス感染症対策については後出を参照のこと。

8. 弁当 団体戦に出場する場合、昼食は各チームで調達し、ゴミ等は持ち帰る事。

9. 経費 参加者の経費(旅費・宿泊費等)は、各自手配の上、自己負担とし、大会中止等による、宿泊所、交通機関のキャンセル代が発生する場合も自己負担となる。

10. 道場旗・団旗(旗幟)の館内掲示について

安全管理面、施設面等の規制により、本大会は、道場旗・団旗(旗幟)等の館内掲示は不可とする。

11. その他 選手・監督(保護者)を問わず、大会に参加する全ての者は、本「要項」の他、【出場決定通知書】並びに、それに同封される『参加上の注意』等を、厳守し、大会に参加すること。

※ 申込書により得られたデータは、プログラムの選手名掲載他、記念品制作等及び、剣道普及のために使用することがある。

※ 大会等の会場において、個人利用の目的でビデオ撮影等を行うことは差支えないが、営利目的又は不特定多数の者に公開若しくは頒布する目的で、これを行うことは禁止する。
ただし、全道連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。

※ 大会等の会場におけるビデオ撮影等は、これを禁止されていない場所で、大会等の運営を妨げないような機材、方法によることとし、他人に迷惑を及ぼさないよう配慮すること。

※ 全道連または全道連が許可した報道機関等が撮影した写真や映像が新聞・雑誌・報告書および関連ホームページ等に掲載や配信、販売されることがある。

※ 道場主の変更等は、所定の手続きを各支部において行うこと。

※ **新型コロナウイルス関連の状況を踏まえ開催や規則等、適宜変更する場合がある。**

※「新型コロナウイルス感染症」感染拡大防止対策について

- ・大会当日、来場前に必ず検温をし、37.5度以上の者は参加できない。
- ・咳(せき)・のどの痛みなどの風邪の諸症状のある者は参加できない。
- ・だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)、味覚や嗅覚の異常など諸症状のある者は参加できない。
- ・同居家族にも上記症状のある者は参加できない。
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は、参加できない。
- ・大会前日から過去14日以内に政府から入国制限、入国後の経過観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある者は参加できない。
- ・マスクを着用すること。
- ・声援(声出しての応援)は禁止とし、拍手にて応援すること。
- ・対戦者以外(待機者/応援者等)は、フィジカル・ディスタンスに留意すること。
- ・国/県/市等から大会開催についての別途指導(通達)が追加される場合がある。
- ・全日本剣道連盟から大会開催についての別途指導(通達)が追加される場合がある。
- ・施設から大会開催についての別途指導(通達)が追加される場合がある。

※ 監督は

【出場決定通知書】送付時に同封する予定の、会場入場者全員の、氏名/住所/電話番号/検温/年齢/体調結果などを記載する『健康チェックシート』を責任を以て管理し、大会当日、所定の場所に提出すること。
万が一、大会後2週間以内に新型コロナウイルスの感染が発覚した場合、医師・保健所の指示に従い、ただちに本部事務局へ連絡をする。
出場にあたり主催者の感染対策指示に従うとともに、各個人においても各自感染対策を行うものとする。

※ 主催者は

感染に関する注意喚起、消毒液の設置等の感染防止対策を行うが、参加者が新型コロナウイルス感染症に感染しても一切の責任を負わないものとする。

※ 今後の感染症拡大状況により、開催内容の変更および大会を中止する場合がある。
中止となった場合は、参加料は準備状況に応じた諸経費を差し引いて返金する。

※ 選手・監督および保護者は本大会における対策および取り決めについて同意の上出場する。

※ 上記内容は適宜変更となる場合がある。

「新型コロナウイルス感染症」拡大防止に
ご協力ください！

三密(密閉・密集・密接)を回避しましょう！

小まめに手を洗いましょう！

咳エチケットを守りましょう！